

田川市産業振興会議・実務責任者会議×福岡県立大学人間社会学部公共社会学科

「田川市の中小企業振興についての調査」

調査の概要

この調査は、本学の社会調査実習(佐野班)と田川市産業振興会議・実務責任者会議が協働で行います。

本調査では、2017年に田川市産業振興会議が実施した「田川市中小企業振興基本調査」に基づき、市内事業所の課題、および、その経年変化を明らかにすることを目的とします。

具体的には、市内にある中小企業2104事業所を対象にした質問紙調査(郵送調査)を採用し、1)市内事業所の強みと課題、2)売り上げ・収益の向上、3)人材確保と育成、4)田川市の立地環境、5)今後の事業展開・事業継承、6)中小企業支援、7)経営者の声を明らかにできればと考えています。



第1回目の授業 (2023年 4月20日)

田川市産業振興課の平塚さん、田川市産業振興会議・実務責任者会議の堀委員長、同佐野部会長にご参加いただき、(1)産業振興会議の概要、(2)2017年調査および今回の調査の趣旨、(3)2017年調査の後に設置された4つの部会の概要についてお話いただきました。

Category

- 第一部会 中小企業経営者が経営の基本を学ぶ場の開設
- 第二部会 地域の課題を解決するソーシャルビジネスの推進
- 第三部会 生活者と事業者をつなぐ地域プラットフォームの推進
- 第四部会 地域で若者を育て地域に若者を残す活動

Content

学生からは、事前に調べた日本の中小企業が抱える課題が報告され、田川市の中小企業がおかれた状況の理解を深めるために平塚さん、堀委員長、佐野部会長と意見が交わされました。この後、4つの班にわかれて今後の調査に向けた話し合いがなされました。



社会調査実習

「田川市の中小企業振興についての調査」

第2回目の授業 (2023年 4月27日)

本日は冒頭で産業振興会議の第1部会の上原さんから2017年調査後の活動目標および現在の活動について説明していただきました。また、経営指針書についてもわかりやすく解説していただきました。質疑応答の後、各班にわかれ、各部長と意見交換を行いました。



第一部会長の荒川さん、第二部会長の岡田さん、第四部会長の奥永さんは本日初参加でした。全部会長の参加が叶い、学生との意見交換も盛り上がりました。お仕事の合間にかけつけてくださり、ありがとうございました。

第7回目の授業 (2023年 6月 1日)

ゲスト講師として、株式会社terra 代表池内学さんと意見交換を行いました。池内さんは、九州大学農学部卒、モザンビーク法人設立、コンサルティング会社、大手ベンチャーを経て農業事業・地域開発を行う株式会社terra設立し、「農業を中心に据えた街づくり」をモットーに田川市では廃棄野菜の加工事業等に着手しています。



Category

学生たちは、持参していただいたドライ野菜を試食させていただきました。「甘い!」「たてのスジがあるこの野菜はなんだ?」と五感をフルに生かしながら、野菜当てクイズを楽しみました。

過去に教室15個分に相当する廃棄寸前のほうれん草を売った経験もあるという池内さん。ソーシャルをやることは、時間、お金、他者の協力という点で正直キツイと思うこともあるそうですが、「野菜を捨てることはもったいない、大切に育てた野菜を捨てることを見過ごすことはできない」「お金ではない価値を創出したい」という思いで事業を続けてきた姿勢に学生たちが学ぶ点が多くありました。

企業経営についての実体験がない学生の質問にもとても丁寧に対応してくださいました。「社員が自社に誇りをもっている企業ほど、パフォーマンスがよい」というのは印象に残る言葉でした。

社会調査実習

「田川市の中小企業振興についての調査」

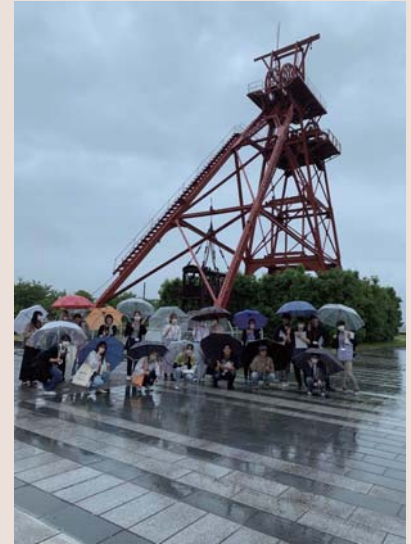
第8回目の授業 (2023年 6月 8日)

本日は北九州市立大学を訪問中のアテネオ・デ・マニラ大学のLeslie V. Advincula-Lopez先生もゲスト参加して、田川でフィールドワークを実施しました。

14:30

15:00

大学 → → 田川伊田商店街 → → 田川市石炭・歴史博物館 → → 石炭記念公園 → →
University Tagawa Ita Shopping Street Tagawa City Coal and History Museum The Coal Memorial Park



17:00

→ → 田川伊田駅周辺散策 → → 風治八幡宮 → → 大学
Stroll around Tagawa-Ita Station Fuuchi Hachiman Shrine University



レスリー先生のご専門は、開発社会学で、長年開発実務機関で政策研究および評価研究に携わってこられました。大学では質的・量的調査法の授業も担当されており、学生には、(1)フィールドワークで特に印象に残った点を記録すること、(2)現在の社会を支えてきた過去の人々に思いを寄せること、(3)地域の人々がまちの記憶として何を大切にしているのか、コンセプトにしているのかを理解することの大切さを共有してくださいました。

レスリー先生は基幹産業である石炭産業の衰退で人口が激減した様子について、石炭記念公園に展示されていた、大勢の子どもが紙芝居に見入る昔の写真が特に印象に残っていると話してくださいました。

あいにくのお天気でしたが、地域の歩みを肌で感じる事ができた1日になりました。



社会調査実習

「田川市の中小企業振興についての調査」

第11回目の授業【質問項目の検討】(2023年 6月29日)

今回は田川市産業振興会議・実務責任者会議のメンバーも参加して、質問項目の検討会を行いました。まず、学生から各班の1.調査の関心・目的・解明しようとしている問い、2.問いに関わる先行研究やこれまで調べたデータの概要、3.先行研究から導出した仮説、4.調査項目、特に、2019年に実施した調査項目に対し、新たに追加を提案する項目についての説明を行いました。その後、田川市産業振興会議・実務責任者会議のメンバーから質問やコメントがなされました。



実際に質問を受ける企業の目線で、抽象的でわかりづらい質問や聞きなれない専門用語についてのコメントがあり、回答して下さる方の目線で質問を考える重要性を認識しました。学生たちは、経営者を前にしてのプレゼンに緊張気味でしたが、論理的に順序だてて説明がこなせたと思います。

全体の報告のあと、4つの班に分かれ、学生は各部会長やメンバーと質問について意見交換を行いました。

第14回目の授業【質問項目の精査】(2023年 7月 20日)

田川市産業振興会議・実務責任者会議のメンバーも参加して、質問紙の完成にむけて、前日に産業振興会議・実務責任者会議で実施したプリテストの結果が共有されました。

実際に回答してみて、わかりづらかった質問のほか、複数選択形式ですべてがあてはまってしまう場合に「上位3つまで選択してもらうようにする」といった具体的な助言をいただきました。



授業の後半では、助言をもとに仕上げ作業を行い、完成に近づけることができました。

【田川市中小企業振興基本調査】調査票
ご協力のお断り

弊学ですべて質問の答えを調査票に記入し、田川市産業振興会議事務局に、田川市中小企業振興基本調査事務局へ送付し、市内各業種が所属する各調査項目に該当する企業様からご回答を頂戴し、田川市産業振興会議・実務責任者会議（事務局：田川市総合産業振興局）と福岡県立大学人間社会学部・公共社会学科・社会調査実習（佐野）の協働で実施させていただきます。

田川市産業振興会議・実務責任者会議では、田川市中小企業振興センターが主催する各業種内閣調査員（企業・市民・学生）が参加し、各業種を代表して調査を実施いたします。調査員は、(1) 中小企業経営者や経営の継承を学ぶ立場の調査員、(2) 地域の課題を解決するソーシャルワーカーの調査員、(3) 生活向上事業を通じてアウトカムを構築し、(4) 地域の力を磨く地域に貢献する会社員などの4つの職種について調査一環として協議を続けています。この調査では、市内各業種の中小企業及び研究を目的とするため、上記4つの職種に限定させていただきます。

なお、本学が所属する福岡県立大学内の施設・設備等利用（社会調査実習室）を管理し、回答票はアンケート係より回収し、また回収したアンケートは、アンケート係より、事務局まで送付いたします。調査が終了後にアンケート係より回収いたします。

調査員は調査票に必要事項を記入し、調査票の項目をすべて記入し、ご回答をお願いします。

業 社 名		
種 別		
所 属 部		
電話番号		
社長のご年齢	1 30歳未満 3 40歳以上 50歳未満 5 60歳以上 70歳未満	2 30歳以上 40歳未満 4 50歳以上 60歳未満 6 70歳以上
メールアドレス		

※希望する場合は、ご記入いただいたメールアドレスに田川市立調査員から各種のご案内を送付させていただきます。必ずしもお返事をいただく必要はありません。

1. 希望する 2. 希望しない

完成した調査票(7月27日)